

社外取締役メッセージ

あすか製薬ホールディングスのさらなる持続的な成長のために、3名の社外取締役から、専門的・客観的な視点を通じ、当社グループの今後への期待も含めたメッセージをお届けします。



女性のwell-beingの実現に向けて

あすか製薬ホールディングス株式会社
社外取締役
吉村 泰典

ヒトは生まれ、成長し、そして成熟し、子どもを産み育て、やがて老いてその一生を終えます。近年この女性のライフサイクルは、大きな変化に晒されています。キャリア形成を望む女性が増え、高学歴化とともに晩婚・晩産化が進み、未婚化も相まって少子化に拍車がかかっています。このような女性のライフサイクルの変化に伴い疾病構造が変化し、女性の健康課題が重要視されるようになってきています。生産年齢人口が減少する超少子化社会にあって、女性活躍が大いに期待されており、企業においては女性が働きやすい環境の提供とその文化の醸成が必要となります。当社はわが国の女性医学のフラッグシップカンパニーとして、

女性のライフプランやキャリアプランを考慮した上でその就業形態を準備し、ヘルスケアの実践躬行を通じて生産性を向上させることがより一層大切になります。

女性活躍の場の提供こそが、イノベーションの創出や働き方改革による組織の活性化、ダイバーシティによる企業としてのリスクの低減、そして企業価値の向上につながります。多様性は、公平性のみならず、企業の成長と技術革新の促進にとって必須であるとの認識のもとに、多様な立場のステークホルダーが協力して未来にものを生み出していく、共創 (Co-Creation) という概念を経営の視点に取り入れるべく、責務を遂行します。

あすか製薬ホールディングスだけの問題ではございませんが、多くの日本企業にとって、少子高齢化の時代には自然に身を任せた成長は望めません。現在の製品と国内市場だけでは「縦の広がり」に限度がある以上、成長の方法としては既存の顧客ベースに新たな製品やサービスを加えるか、既存の専門分野の製品の販路を海外へ広げていくか、2種類の「横の広がり」が効果的な戦略になってまいります。あすか製薬ホールディングスの使命のひとつは、

産婦人科専門医との長年の信頼関係とネットワークをもとに、女性の健康と医療に貢献することです。そのためにも、この分野で新たに優良な製品やサービスを加えることが重要です。海外新規事業の発掘と導入のノウハウを持つ社外取締役として、情報収集の仕組みづくりのお手伝いをし、集まった情報を会社が分析・判断する際に、技術面での判断は専門の皆さまにお任せし、ビジネス面での助言をさせていただくことが私の使命だと考えています。

海外 Femtech (女性のためのテクノロジー) 事業に学ぶ、女性の健康への貢献

あすか製薬ホールディングス株式会社
社外取締役
栗林 稔



さらなる持続的な成長に向けて

あすか製薬ホールディングス株式会社
社外取締役
榎戸 康二

女性の活躍と、アニマルウェルフェアという時代の流れをいち早く察知し、適切に経営資源を振り分けることで、あすか製薬ホールディングスは健全な事業の成長を続けています。今後は社会性に対する人々の意識がさらに深化し、各ステークホルダーからの企業に対する評価がますます厳しくなっていくと考えられます。「社会にとって良いことか、良くないことか。正しいことか、正しくないことか」と絶えずシンプルな問いに答えながら経営判断をしていき

たいと思います。一方で、テクノロジーの進化により事業環境は劇的に変化し、業界の垣根、国の垣根はますます低くなるでしょう。AIや量子コンピューティングなどの技術動向も見据えながら、また海外にも積極的に進出しつつ、今まで以上に先を見据えた戦略が重要となります。広い視野に基づく戦略の立案と実践、そのための人材育成、組織づくりを見届けていくことが社外取締役の重要な役割と認識し、責務を全うしたいと考えています。